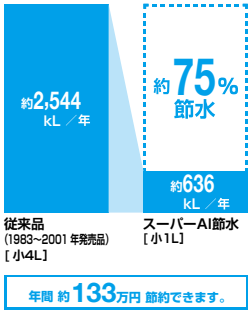
センサー一体形ストール小便器

経済性



スーパーAI節水をさらに進化させることにより、従来品から約75%の節水、年間約133万円の節約を実現します。

【試算条件】男性600人が小4回/人・日、年間稼働日数:265日、設備保護洗浄切とした場合で算出。【引用元】自社基準【単価】P.6参照。

新構造のスプレッダーでさらに節水

従来のスプレッダーを一新。両端により多くの洗浄水を広げられる新構造により、わずか1Lでもしっかり洗浄することが可能になりました。

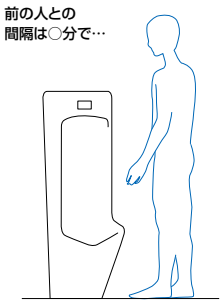
スーパーAI節水

小便器内の機能部内のAI(人工知能)が使用頻度と使用時間を測定し、使用状況に応じて洗浄水量を調節します。

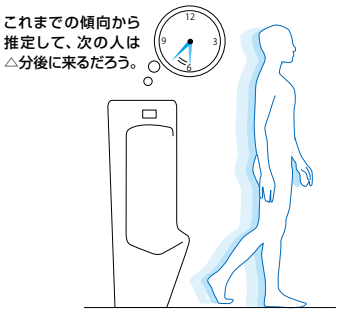
使用状況に応じて0.8~2Lで洗浄するスーパーAI節水。

スーパーAI節水制御のメカニズム

① 使用状態をチェック
- ■ 使用頻度を計測。
- ■ 使用時間を計測し、尿量を推定。

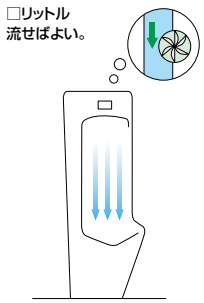


② 考える
- ■ 次の使用者までの空き時間を予測。
- ■ 次の使用者にニオイを感じさせない最低洗浄水量を計算。



③ 必要最小限の洗浄水量を流す
- ■ 使用頻度が高いと水量を少なく、使用頻度が低いと水量を多くして洗浄します。

※水量の詳細はP.238の仕様表を参照。

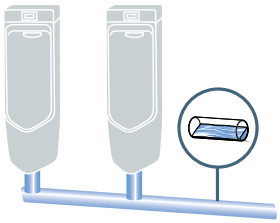


④ 設備保護洗浄水を流す。
- ■ 使用間隔があいたときは自動吐水で尿石付着を抑制(設備保護洗浄を入とした場合)。
- ■ もし、予測した時間内に次の人が来ないときには、追加洗浄を行い、ニオイの発生を防止。

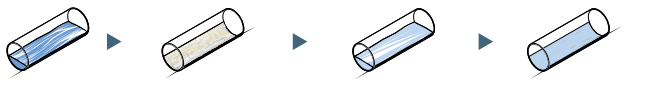
メンテナンス性

設備保護洗浄

スーパーAI節水と設備保護洗浄の組合せが節水と尿石付着抑制を両立設備保護洗浄は、一定の使用間隔があくと自動で追加洗浄を行い、ニオイや汚れの原因となる排水管内の尿石付着を抑制する洗浄機能です。細菌が繁殖し尿石が付着しやすくなる夜間や休日にもきめ細かい洗浄を行うので、尿石付着による排水管閉塞を抑制します。



設備保護洗浄の場合



洗浄時 ▶ 使用の間隔があくと、配管内の細菌が増殖します。 ▶ キレイな水2Lで、自動洗浄します。 ▶ 壁面の汚水・細菌濃度が薄くなります。

■ 排水管内の尿石付着は手動洗浄フラッシュバルブを使うよりも抑制されます。

配水管尿石付着状況

設備保護洗浄なし ▶ 設備保護洗浄あり

【使用条件】
1日当たりの使用頻度約120人／器具
再生水を使用
オフィスビル
使用開始後約6ヵ月

ご購入の前に
- ■ 設備保護洗浄は尿石を抑制する効果はありますが、尿石の付着を完全に予防したり既に付着した尿石を除去する効果はありません。必ず尿石除去の清掃メンテナンスを定期的に行ってください。
- ■ 尿石抑制効果を発揮するために、0.1mg/L~2mg/L以上の残留塩素濃度を含む水をご使用ください(0.1mg/Lは水道法で規定された下限値)。
- ■ 改修工事で既存排水管を利用する場合、小便器設置前に、既存排水管内の尿石を必ず除去してください。
- ■ 節水と尿石抑制効果は、水質や使用頻度(100回／日程度を目安)、配管の状況により異なります。
- ■ 実際の使用状況に応じて、尿石抑制効果を高める設定(水量アップ)が可能です。詳しくは製品同梱の取扱説明書をご確認ください。

安心設計

外部電源不要アクエナジー機構で節電

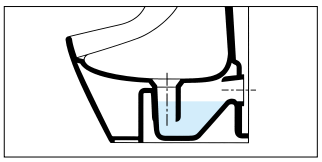
水力発電機を内蔵したアクエナジー方式。電源に電源回路とバックアップ電池を採用することで、外部電源が不要になりました。

清掃性

配管掃除がしやすいトラップ形状

排水口に向かって滑らかなトラップ底面形状としているため、カンツール等の配管清掃道具が通りやすくなっています。

■ U-A51の場合。



樹脂製の着脱トラップ

軽量で割れにくく、扱いやすい樹脂製の新型着脱トラップを採用。清掃性を向上させます。

また、少量の水量でトラップ溜水を入れ替えます。

■ U-A31、AWU-507Rの場合。
■ 樹脂製トラップのため、多少変色することがあります。

施工性

スリップイン施工

排水管接続は、省施工タイプのスリップイン方式を採用しています。

■ 床置タイプU-A31の場合。

赤外線センサー

黒い服も確実に感知する距離測定方式の赤外線センサーを採用。距離調整が不要なので施工がカンタンです。